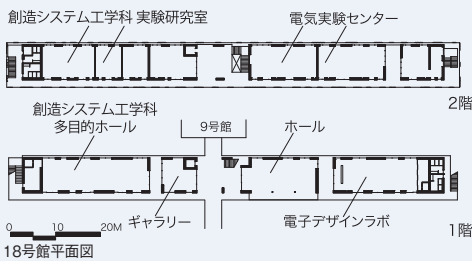


平成22年(2010年)6月1日発行



18号館の完成予想模型



18号館平面図



18号館起工式での大川理事長の鉄鍬入土

キャンパスリニューアル計画

■18号館着工
さる4月16日(金) 10時30分から、18号館の起工式が建設予定地である9号館北側で執り行われた。
平成23年2月に竣工の予定で工事が始まり、完成後には創造システム工学科と電気電子工学科、電気実験センターが入る予定である。鉄骨の2階建てで、面積は1階749㎡、2階698㎡、合計1447㎡。建物の東側が創造システム工学科、西側が電気電子工学科と電気実験センターという配置となる。
1階の中央には、通り抜けるのピロティが配置され、両側にそれぞれの学科の多目的展示スペースと実験室が設置される。また、現在9号館1階にある電子デザインラボもこの建物に移動する予定になっている。
2階はそれぞれの学科の研究室、実験室という配置になる。

■W4棟・博物館改修工事完了
○W4棟改修
従来、博物館別館として研究室、卒業計画室、展示室等、建物全体を使って配置していたものを、1階に集約して建物内のスペース有効活用を図るべく改修工事を行った。
また、2階には生活環境デザイン学科のデジタルスタジオ、研究室、卒業計画室を配置した。デジタルスタジオ内には、平成22年度にコンピュータ他、什器類が設置される予定である。ロビー部分には談話コーナーも設置され、テーブル・イス等は手作りのものが配置されており、学科の特色が良く反映されている。また、今回の改修工事では、省エネを考慮し、LED照明や高効率タイプの蛍光灯が採用されている。
○博物館事務室改修
W4棟の改修工事と併せて博物館事務室の改修を同時に実施した。
事務室を全面改修し、天井上に、これまでW4棟2階に展示されていた時計工場が移設された。
■JABEE学生用自習室設置工事完了
E1棟3階のロビー部分の一部間仕切りを施して、JABEE学生の自習室として利用できるように工事を実施した。



スチューデントラボに設置された乾燥炉

7/10(土)
第6回「本学卒業
現職教員の集い」の開催
「集い」の目的は、全国の中学校・高校等に在職する本学卒業現職教員と本学との連携を深め、相互の発展を図ることである。
今年も、昨年に続き本学内で開催する。奮ってご参加ください。
加のうえ、交流を深めていただきます。
実施要領は以下の通り。
〔日時〕平成22年7月10日(土)
〔場所〕本学LCセンター(内容)
◎現職教員研究発表
◎懇親会
(工業教育研究所)

- ・静岡県浜松市立富塚中学校 教諭 水野佳史氏
- ・東京都立六郷工科高校 副校長 佐々木 哲氏
- ◎挨拶・講演(予定)
・学長 柳澤 章
- ・入試室長 丹澤祥晃
- ・工業教育研究所長 原田 昭
- ◎学科交流会
- ◎懇親会
(工業教育研究所)



昨年の開催風景(於LCセンター)

協定校KMUTT創立50周年記念式典と 日本工業大学タイ事務所開設



(左) KMUTT 学長に記念品を贈る柳澤学長 (右) チャクリ王女と挨拶を交す大川理事長と柳澤学長

本紙164号(4月1日発行)でお伝えしたように、3月29日(月)、30日(火)に開催された、タイのキングモンクット工科大学トンブリ校(KMUTT)の50周年記念式典へ、大川理事長夫妻、柳澤学長以下3名の本学教職員が参加した。
式典初日の29日に開催された工学部総合棟オープニングセレモニーには、タイ王室のチャクリ・シリントン王女が出席し、新棟を視察した。この場で、大川理事長と柳澤学長は、海外からの出席者代表として、王女と対面をした。
30日は、ホテルに会場を移し、国内外から数百名の招待者を招いた式典が盛大に開催された。ここでは、KMUTTのクワイウット・キャッティコ・モン学長の挨拶や、KMUTTの歴史の紹介、さらには様々なアトラクションなどが行われ、成功裏に幕を閉じた。
この式典に先立ち、創立50周年を記念して建設された工学部総合棟内に設置された本学タイ事務所の開所式が、本学関係者とKMUTTの学長をはじめとする多くの関係者の参加を得て開催された。この事務所は、これからのKMUTTと本学との学術交流の益々の発展やタイからの留学生の本学への受入れ拠点になることを目的に設置されたものである。
今回の出張期間中には、これまでタイ人留学生の受け入れを積極的に行ってきた大川理事長と柳澤学長のもとに、1期生から15期生までのタイ人OBやその家族が集まり、親睦会が開催された。
タイから本学へ留学したOBの方々は、そのほとんどが様々な分野で活躍している。そのうちの一人である、本学機械工学科15期卒業のソムボップ・チンタムミットさんから、タイ人留学生のために使っていたきさいという目的で寄付を受けた。親睦会後に柳澤学長から同氏にお礼の言葉が述べられ、感謝状が手渡された。



本学タイ事務所開所式でのテープカット

オープンキャンパス情報

3月28日(日)、春のオープンキャンパスが開催され、昨年に上回る大勢の高校生や保護者の方が参加された。
興味にあわせて選べる分野体験や、女子学生による何でも相談コーナー「女子向け特別プログラム」などが好評であった。



オープンキャンパスのお知らせ

無料バスを運行します! 詳細はWEBサイトで。
NIT夏のオープンキャンパス

6/5(土) 7/11(日) 7/31(土)
8/1(日) 8/21(土) 9/12(日)

オープンキャンパス・進学相談会

10/16(土)

各開催日とも11時開始(ランチ付)

お問い合わせ・お申込み先: 教務部入試室
☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp
URL: www.nit.ac.jp 携帯URL: www.nit.ac.jp/k

平成23年度入試情報

平成23年度入試で注目すべき点は次のとおり。

◆専門高校入試(S工業科)の新設
出願時の評定平均値が4.3以上の工業科出身の方を対象とし、入学手続締切日を遅めに設定した点が大きなポイント。国公立大学等と併願受験を検討している方もチャレンジでき、成績・人物が優秀な方は、後述する入試奨学金(20万円)が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆一般入試に地方会場を設ける。
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

◆入試奨学金の給付
入試奨学金は、1年次の学費の減免として年額20万円が給付される。平成22年度には139名の方が認められた。一般入試、センター利用入試、専門高校入試(S工業科)および(B工業科)の合格者のうち、成績優秀で向学心あふれる方を幅広く受け入れるべく、年2回(8月、1月)に採用されて入学した方には、1年次の学費の半額が免除される特典が与えられる。

出前授業の紹介

平成21年度は、延べ151回の出前授業を実施し、前年の86回に比べ大幅に増加している。3年間にわたる大学をあげての組織的な取組みが浸透した結果といえる。
平成22年度は、一層高校や中学校の期待に応えよう、8学科92名の教員から108テーマの出前授業が用意された。下記に、今年度授業題目の一部を紹介する。

【機械工学科】最軽量金属マグネシウムで作る様々な製品/レーザーではじめる/21世紀は炭素の時代(電気釜からボーイング787まで)

【ものづくり環境学科】「もったいない」精神で毎日の生活をみなおす/風車で作るクリーンエネルギー/文明の跡地は砂漠になる(森を創る文明・森を壊す文明)/最先端をゆく日本のクルマづくり

【創造システム工学科】環境を守る黒いダイヤモンド/電子顕微鏡と友達になろう/自動車に見るナノテクノロジー/ロボットとサイボーグ

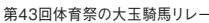
【電気電子工学科】聞こえない音のお話/コンピュータと暗号化技術/のぞいてみよう「ナノ」の世界/次世代電気自動車は環境問題を解決する

【情報工学科】「分かる」のしくみ/コンピュータと人が仲良くする技術のお話/どこでもコンピュータ/ラジオとテレビ放送技術発展の歴史

【建築学科】建物基礎と地盤/初めての耐震工学/地球温暖化対策としてのエコリフォーム/建築設計の魅力/建築設計の現場から/世界遺産と国際協力

【生活環境デザイン学科】歴史を生かしたまちづくりは高齢者に優しい/とびきりの建築空間視察の旅/建築材料のあれこれ/福祉の用具で暮らせる住環境

【共通教育系】「だまし絵」の秘密/クラスの中に同じ誕生日の人がいるか/平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎/進学指導ガイダンス



第12回

歴史的な工作機械の顕彰

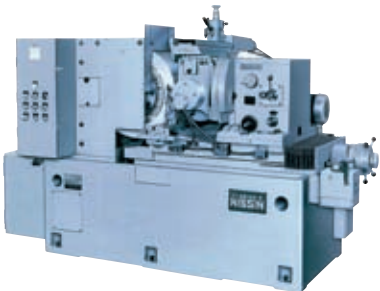
我が国のものづくりを支えた
名機4機種を表彰



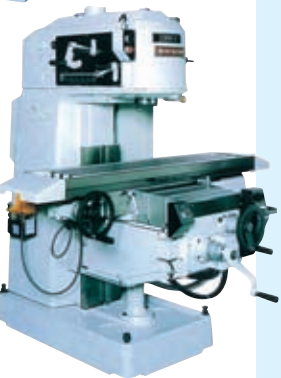
株式会社ニガタマシンテクノ
ペット形万能フライス盤
2UM形



株式会社キラ・コーポレーション
卓上ボール盤 NSD-13R形



株式会社日進機械製作所
心なし研削盤 HI-GRIND2形



日立ビアメカニクス株式会社
ひざ形立てフライス盤2MW-V形

ロングライフ・ベストセラー賞

ベストテクニカル賞

「歴史的価値のある工作機械を顕彰する会」(会長・守友貞雄理事、事務局・当博物館)による第12回顕彰機種が決定し、6月9日(水)にLCセンターで表彰式が行われる。数多くの候補の中から厳正に審議されて選ばれた4機種は、いずれも我が国で開発され経済成長を長年支えた、工作機械の歴史に残る名機であり、製造企業に顕彰額が贈呈される。これで顕彰数は46機種となり、そのうち18機種が当博物館に展示され来館者の注目を集めている。



工業技術博物館
館長・教授
松野 建一

顕彰機種の概要

■ロングライフ・ベストセラー賞

「ニガタマシンテクノ・ペット形万能フライス盤2UM形」(製造開始・昭和40年) 従来機種であった、二重旋回式主軸頭を持つひざ形万能フライス盤とベッ

ド形生産フライス盤の利点を組み合わせて実現した、独自のベッド形万能フライス盤である。主軸頭を旋回させて刃具の方向を任意に設定でき、また大型加工物の重切削も可能となり、我が国の高度成長期における高生産性の要請に応えた。販売台数は9526台(U

Mシリーズ全体では12000台超)である。

「キラ・コーポレーション・卓上ボール盤NSD-13R形」(製造開始・昭和35年) 当時多くの町工場で作業式卓上ボール盤が穴あけに使われていたが、スピンドル横に深さ位置決め装置を付けて未熟練者でも正確な深さの加工を可能とし、支柱にラックを付けてハンドルの回転で加工テーブルの上を可能にし、スピンドル精度を向上させ、真円度、円筒度ともに0.3μm以下を安定して達成させた機種である。現在までに560台販売(うち輸出80台)の実績がある。

「日立ビアメカニクス・ひざ形立てフライス盤2MW-V形」(製造開始・昭和52年) 前身の汎用フライス盤をベースに、当時確立されたFEMで主軸および主要構造部を設計し、総重量の20%以上削減、高剛性化を実現するとともに、軸送り系にサーボモータを採用し、操作ボタン、各軸送りハンドル等を前面集中化した作業者の使い易さ、安全性も追求した。現在までに8000台以上製造され、2007年の技能五輪国際大会(沼津)でも採用された。

「日進機械製作所・心なし研削盤HI-GRIND2形」(製造開始・昭和45年) 家電製品、自動車等の大量生産に伴って現場から寄せられた、部品の高精度、高

能率、自動化生産の要求に対応するために、全面的に静圧油軸受を採用した心なし研削盤の開発を始め、砥石のツルインク、ドレッシング精度、調整車の成形精度を向上させ、真円度、円筒度ともに0.3μm以下を安定して達成させた機種である。現在までに560台販売(うち輸出80台)の実績がある。

「日立ビアメカニクス・ひざ形立てフライス盤2MW-V形」(製造開始・昭和52年) 前身の汎用フライス盤をベースに、当時確立されたFEMで主軸および主要構造部を設計し、総重量の20%以上削減、高剛性化を実現するとともに、軸送り系にサーボモータを採用し、操作ボタン、各軸送りハンドル等を前面集中化した作業者の使い易さ、安全性も追求した。現在までに8000台以上製造され、2007年の技能五輪国際大会(沼津)でも採用された。

情報工学科 高瀬講師が IEEE 学術奨励賞を受賞

情報工学科の高瀬浩史講師が3月17日、IEEE(米国電気電子学会)航空宇宙・電子システム部門日本支部の学術奨励賞を受賞した。

受賞論文題目(和訳)は「完全コンプリメンタリ符号によるレーダと通信の統合方式」で、レーダと通信したい」と語っている。

「より効果的な就職支援を目指して」をテーマとする、第27回教育改革シンポジウムが3月2日に開催された。平成21年度文科省の補助事業で採択された「技術を活かし就職満足度を向上させる工学系就職総合支援システム」は12月から運用を開始したが、より効果的な就職支援を実施していくために、このシステムの機能を紹介するとともに、求人側がどのような学生を望んでいるかや教職員がどのような就職支援を行えばよいかなどについて話題の提供があった。

まず、第一部に、教職員による就職支援として菊地教授から「企業の採用試験と教職員による就職支援」について、次に初見就職支援課主任から「就職支援課における就職支援の取組の事例」について、続いて上野准教授から「研究室における就職支援の取組の事例」について報告があった。第二部に、就職支援システムによる就職支援として梅崎学生支援部長と古見就職支援課長から「新規に導入した就職総合支援システム」について機能の説明と具体的システムを使って利用方法の説明があった。

第27回教育改革シンポジウム開催 「より効果的な就職支援を目指して」

「より効果的な就職支援を目指して」をテーマとする、第27回教育改革シンポジウムが3月2日に開催された。平成21年度文科省の補助事業で採択された「技術を活かし就職満足度を向上させる工学系就職総合支援システム」は12月から運用を開始したが、より効果的な就職支援を実施していくために、このシステムの機能を紹介するとともに、求人側がどのような学生を望んでいるかや教職員がどのような就職支援を行えばよいかなどについて話題の提供があった。

まず、第一部に、教職員による就職支援として菊地教授から「企業の採用試験と教職員による就職支援」について、次に初見就職支援課主任から「就職支援課における就職支援の取組の事例」について、続いて上野准教授から「研究室における就職支援の取組の事例」について報告があった。第二部に、就職支援システムによる就職支援として梅崎学生支援部長と古見就職支援課長から「新規に導入した就職総合支援システム」について機能の説明と具体的システムを使って利用方法の説明があった。

生・教職員が一体となって取り組むことによって、学生の就職力を向上させ、高い満足度が得られることを期待したい。参加者112名。

学内合同企業説明会参加と LCセンター就職特集コーナーの活用

平成22年度大卒採用計画は昨年度に比べ、若干増加しているものの、計画が決定していない企業も目立つなど、景気や業績の先行き不透明感から、企業は慎重な姿勢を崩していない。昨年度に引き続き厳選採用が続くものと思われる。

さて、本年度も、2月に本館にて7日間、4月に学友会館にて5日間、学内合同企業説明会を開催した。2月には、大手企業を中心に206社を招いて就職希望者の8割以上の学生が参加し、4月上旬から、内定が開始されている。4月は本学と親しい一般企業108社が参加し、会場には、学生が殺到し、立ち席が出るほどの盛況ぶりだった。この3月に卒業した就職者の半数近くが、この説明会者の半数近くが、この説明会に参加した企業に就職をした。今後、2月、4月に加え、6月、10月に説明会を開催予定している。この機会を是非活かして内定を得てもらいたい。

この説明会への申込は4月より、文部科学省2009年度「学生支援プログラム」に採択された「就職総合支援システム」から利用可能になり、自宅から参加企業の求人情報を見ながら、申込が出来るようになった。

LCセンター情報

LCセンターでは、2階特集展示コーナーで、様々な展示を行っている。4月は、「新生活特集」と銘打って、新入生の皆さんや、春から新たな生活を始める方に向けて、大学生活をサポートするための図書を紹介した。年間7回程度を予定しているので、今後も期待して欲しい。また、当センターではeBOOK(電子書籍)を自然科学分野を中心に、245冊所蔵している。本学の学内LANに接続可能なパソコンであれば、LCセンターのホームページから、いつでも閲覧可能である。LCセンターに足を運ぶことなく利用できる。非常に便利である。ぜひご利用いただきたい。URLは、以下の通り。
<http://nit-lib.cc-town.net/modules/information/index.php?cid=7>

このロボット 名前募集中。

詳細はWEBサイトで
<http://ise.nit.ac.jp/RobotName.html>
または、本学トップページ
右下のバナーをクリック!

申込 締切
2010年6月末

お問合せは、創造システム工学科事務室まで
TEL. 0480-33-7716 s_jimu@nit.ac.jp

最近、本学が取材を受けたテレビ番組等で、塩ビパイプからテニスボールが大きな音と共に高速で発射されるのを見た方もいるのではないだろうか。これは「大気圧砲」というもので、パイプ状のものの中に発射する物体(ボール等)を入れて密閉し、中の空気を抜いて真空状態になったところで、パイプの片方を開口すると瞬間的に空気が流れ込み、もう一方から内部に入れてあったものが発射される。元々物理の実験で空気の流れ(大気圧)を見せるための装置だったが、これをベースに改良を重ね、より速くにモノを飛ばせるようにしたのが、増田君と甲斐君を中心とするグループである。彼らは当初、工房教育の「物理体感工房」に参加しており、その中で特に興味を持った仲間10人と「Team自由時間」というグル

STUDENT FACE 10



増田 殊大 君(左)
システム工学科 4年 (下館工業高校出身)
甲斐 正也 君(右)
システム工学科 4年 (付属東京工業高校出身)

「大気圧砲」他、物理的原理を 応用した実験作品の製作

水筒(潜水艦)ではない。これは海洋研究開発機構主幹の「水中ロボットコンペ」に出場、東京大学や東京海洋大学も参加する中で、みごと敢闘賞を手に引き継がれている。有線でコン

「鳥人間コンテスト」への出場を目指し「人力飛行機」の製作を企画した。時間をかけ機体の企画・設計を行い応募したが、現在、審査が非常に厳しく、残念ながら書類審査に通らなかった。今回、彼らの話を聞いていて、「ものづくりが好きでたまらない」のだと感じた。彼らが実験や製作過程を語るとき「熱さ」は技術者として不可欠なものであり、将来にわたって、ものづくりに携わりたいという強い希望を持っていることも感銘を受けた。これらの企画・研究は、後輩たちに引き継がれていく。

